

実施計画事業名		勤労者福祉向上事業		評価対象年度	平成 22 年度				
評価担当部署		建設産業部 水産商工課		課長(主幹)名	畑 均				
総合計画体系	分野	5	産業振興						
	政策	3	地域経済を支える未来の芽を育成						
	施策	3	雇用・労働の安定と中小企業の経営を支援します						
	関連施策								
現状と課題	勤労青少年や働く婦人の多様化するニーズに応えるタイムリーな講座や行事の企画・運営と利用者減への歯止め								
目的	本施設の利用者数が減少傾向にあることから、魅力ある行事、イベントの企画等により利用拡大を図っていく。								
5ヶ年開の	本施設は、平成19年4月より指定管理者制度に移行し、平成24年3月31日までの5年間は現行の指定管理者である職業訓練法人稚内地方職業訓練協会が継続的に管理を受託し、サービスの向上と運営経費の節減を図っていく。								
成果指標	名称		単位			21年度	22年度	25年度	
	総合勤労者会館利用者数		人		目標	60,000	60,000	60,000	
説明	会館+体育センターの年間延利用者数				実績	57,246	57,894		
活動指標	名称		単位			21年度	22年度	25年度	
	勤労青少年ホームのサークル数及び登録者数		サークル数 登録者数		目標	12 95	12 95	12 95	
	説明		勤労青少年ホームサークル数(上段)及びその登録者数(下段)		実績	12 96	13 100		
	働く婦人の家のサークル数及び登録者数		サークル数 登録者数		目標	54 650	54 650	54 650	
	説明		働く婦人の家サークル数(上段)及びその登録者数(下段)		実績	55 560	60 605		
					目標	-	-	-	
	説明				実績				
					目標	-	-	-	
	説明				実績				
	事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
直接事業費(A)		千円	35,625	32,400	31,955				
国庫支出金		千円	0	0	0				
道支出金		千円	0	0	0				
起債		千円	0	0	0				
その他		千円	1,608	1,536	1,645				
一般財源		千円	34,017	30,864	30,310				
この事業にかかる職員数		人/年	0.35	0.35	0.35				
人件費(B)		千円	2,424	2,377	2,377				
計(A+B)		千円	38,049	34,777	34,332				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 目標となる延べ60,000人には届かなかったものの、ここ数年、数千人単位で減少を続けている利用者数を微増させることができた。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> ここ5年間で総合勤労者会館、体育センターともに1割以上、利用者が減少している。減少の要因を分析しながら、総合勤労者会館の管理運営を引き続き指定管理者制度で実施していく。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--